



「未来を主体的に生き抜く力を育む学校」を目指して（学校経営方針より）

校長 横枕 耕史

令和6年度がスタートしました。「未来を主体的に生き抜く力を育む学校」を目指し、誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望をもって、自ら伸び、育つ教育を目指し、時勢の流れにのって受け身の生活を送るのではなく、自分の未来をデザインし、高い理想や自己目標を実現させるため「頑張るときはいつも今」と自らを鼓舞し、未来を主体的に生き抜く力を育成します。そのため、生徒一人ひとりの自己理解力（自分のよさや可能性に気付かせる）、自己管理能力（自分の課題を見つけ、自分で解決策を考え、目標管理させる）、自己学習力（自ら学び、行動できる）を育成します。

目指す生徒像に向けての取組

○「自ら進んでよく学ぶ生徒」

生徒が各教科の見方・考え方を働かせ、興味・関心・探求心をもって授業に臨むように積極的にICTを活用し、学ぶ喜びや楽しさを実感させ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を推進し、基礎学力の定着と確かな学力の向上を図ります。また、生徒自らが課題を発見するとともに、主体的にその課題や問題を解決していく力を育成します。周囲とともに考えたり、発表したり、疑問や意見を話し合う授業を行います。そして、先を見通して行動できるセルフマネジメント(自己管理能力)の習得を目指し、自己管理ノートを活用しながら、生徒自身が目標に向かって自分で考えた計画を実行し、成功・失敗体験を得ながらPDCAサイクルで自己管理させ、家庭学習習慣を定着させ自己学習力を高めます。

○「協力して働く生徒」

学級活動、学校行事に加えて、地域の方と生徒が直接つながるボランティア活動を通して、生徒の自主性や協調性を育み、自己有用感・自己肯定感を高め、地域社会に貢献できる意欲と態度を育みます。

○「規律を守り、責任を重んずる生徒」

「責任ある自由」の下、生徒自らが自分で考え、その場の状況に臨機応変に対応し、自らの行動を適切に律し、その責任を果たせるように、学校の教育活動全体で自主・自律の精神や社会生活で必要となる社会的資質・能力を育成します。

○「心身ともに健康で、思いやりのある生徒」

基本的な生活習慣の確立や体育・食育・保健が一体となって健康教育を推進します。「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」の実現に向けて、教育活動全般を通し、人権尊重の精神と思いやりの心、豊かな心と感性を育成していきます。

令和6年度の重点方針

(1) 学力向上

本校は、令和6年度江戸川区教育課題実践推進校に指定され、研究主題「未来を主体的に生き抜くために～自ら進んでよく学ぶ生徒の育成を目指して～」として研究課題「学力向上」に向けて取り組んでいきます。生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びを最大限に引き出しながら、支援し伴走する「ファシリテーター」となる「令和の日本型学校教育」の推進し、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指していきます。「自己管理ノートを活用した家庭学習習慣の定着」「指導と評価の一体化」「ICT活用の推進」などに取り組んでいきます。

(2) 生徒に寄り添う指導の推進

共生社会の実現を目指した学びのユニバーサルデザインの推進、多様性社会を踏まえ、過度の同質思考から抜け出す寛容さの涵養、いじめ・不登校が生じない魅力ある学校・学年・学級づくり、「エンカレッジルーム」における不登校・多様な学びの支援などに取り組んでいきます。